

個人情報

登録番号 0000-0000000

本人

フリガナ	イチカワ タロウ	生年月日		
氏名	市川 太郎	2020/4/1	(満0歳)	
住所	〒000-0000 (都道府県から) (建物名)			
連絡先	自宅電話	00-0000-0000	個人携帯	00-0000-0000
	個人メール			

顔写真

(撮影日:2020/4/1)

学校名	入学・卒業・異動	
市川市立〇〇小学校	〇〇年〇月入学	
勤務先名	職種	勤務地

趣味・特技

免許・資格

健康状態・アレルギー・持病・常備薬など	
血液型	型

宗教・信仰

家族

続柄	氏名	職業・学校など	連絡先

続柄	主な連絡先メールアドレス

進級課目

初級		：仲間	日付	サイン	備考
1.基本	(1) 「ちかい」と「おきて」が言える。そのうえで、隊長と話し合う。○				
	(2) 「スカウト章」「モットー」「スローガン」の意味を説明できる。				
	(3) 日本の国旗の正しい様式を知り、集会で掲揚柱に掲揚する。				
	(4) 「連盟歌」が歌える。				
	(5) 普段の集会で必要なもの（訓練用具）を知り、携行する。				
	(6) スカウトサイン、敬礼、スカウトの握手ができる。				
2.健康と発達	(1) 体温と脈拍を正しく測ることができる。				
3.スカウト技能	(1) 自分の体や身近にあるものを用いて簡単な計測を行う。				
	(2) 集会で使う身ぶり信号（気をつけ、休め、すわれ、分かれと集合隊形の各種サイン）、笛の合図を覚える。				
	(3) ロープ結び ①次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。 ア) 本結び イ) 一重つぎ ウ) ふた結び エ) もやい結び オ) 8の字結び				
4.善行	(1) 集会などで行う社会奉仕活動へ積極的に参加する。				
5.信仰奨励	(1) 隊集会やキャンプ、ハイキングでスカウトタウン・サービスに参加する。				
6.班長会議	(1) 初級スカウトとして進級することを、班長会議で認めてもらう。				
初級スカウト章課目		修了			

2級		：ハイキング	日付	サイン	備考
1.基本	(1) 「ちかい」と「おきて」について意味を説明でき、その実践に努力していることを隊長に認めてもらう。○				
	(2) 日本の国旗の意味、歴史、仕様を説明でき、班や隊の活動で国旗を正しく掲揚できる。				
	(3) 外国旗およびその国のスカウト章を5か国以上見分ける。				
2.健康と発達	(1) 体温、脈拍と体調との関係について説明する。				
	(2) 救急法 ①日常遭遇しやすい次のような場合の応急手当や対応を説明できる。 ア) 鼻血 イ) 目のちり ウ) やけど エ) 指の切り傷				

	<p>オ) 立ちくらみ カ) 頭痛 キ) 蜂、ダニ、毛虫などの虫さされ ク) 熱中症</p>			
	<p>②三角巾で他の人の頭、手、ひざ、足に包帯を巻き、腕を吊る方法を実演する。</p>			
	<p>(3) 隊または班の安全係を 3 か月以上担当する。</p>			
3.スカウト技能	<p>(1) ハイキング・読図</p>			
	<p>①16 方位と方位角の呼び方を覚え、コンパスで進路を発見する。</p>			
	<p>②2 万 5 千分の 1 地形図を用いて次のことをする。 ア) 図上に示された 2 つの地点の間の方位角、直線距離、標高差、道路に沿った歩行距離を読む。 イ) 真北と磁北の違いを説明する。 ウ) 500m (または 1 km) ごとの方眼を正確に書き入れた地形図により、6 桁 (または 8 桁) 座標読みを行い、示された地点に到達する。</p>			
	<p>③三角点、水準点、標高点、等高線とは何かを知り、三角点または水準点の標石を発見する。</p>			
	<p>④10 個以上の地形図記号を覚える。</p>			
	<p>⑤コンパスを用い、バックベアリングができる。</p>			
	<p>⑥地図とコンパスを用いた 10km 程度のハイキングを計画し、隊長の指名する 2 級以上のスカウト (但し、適任者がいない場合はベンチャースカウトも可) とともに、保護者の同意のもと実施し、報告する。このハイキングは、1.基本(1)および 6.班長会議(1)以外の課目を終了した後に、仕上げの課目として行う。○</p>			
	<p>(2) キャンピング</p>			
	<p>①次の野外料理を作る。 ア) 複数人数分の米飯および味噌汁 イ) 複数人数分の野菜、肉、魚、玉子を材料とした 2 種類以上の料理</p>			
	<p>②かま、なた、のこぎりを安全に使用でき、手入れと保管ができる。</p>			
	<p>③火口、焚き木、薪を作り、マッチ 2 本で火を起こし、500ml の水を沸騰させる。</p>			
	<p>(3) ロープ結び</p>			
	<p>①次のロープ結びの使いみちを理解し、実際に使う。 ア) 巻き結び イ) ねじ結び ウ) 引きとけ結び エ) ちぢめ結び オ) 腰掛け結び カ) てぐす結び</p>			

	キ) てこ結び ク) 張り綱結び			
	(4) 観察 ①食用植物、有害植物をそれぞれ2種以上見分ける。 ②24個の小さな物を1分間観察し、そのうちの16個以上を記憶によって答える。			
	(5) 計測 ①100mの距離を誤差5%以内で歩測する。 ②スカウトペースで、2kmを15分で移動する。 ③はかりや計量器を使わずに、1合の米、1ℓの水を15%以内の誤差で量る。			
	(6) 通信 ①片かな手旗信号で15の原画を理解し、10文字程度の語句を発信、受信できる。 ②追跡記号を10種以上覚える。			
4.善行	(1) デンコーチとして3か月以上の奉仕、または社会奉仕活動を3回以上実施する。			
5.信仰奨励	(1) スカウトタウン・サービスで自分ができる役割を果たし、「ちかい」と「おきて」を日常で実践したこと、実践により感じたことを発表する。			
6.班長会議	(1) 初級スカウトとして3か月以上、隊および班活動に進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。			
2級スカウト章課目 修了				

1級 : キャンピング		日付	サイン	備考
1.基本	(1) 「ちかい」と「おきて」の実践に努力していることを日常の生活で示す。○			
	(2) 姉妹都市または自分が興味を持っている2か国の民族、文化、通貨、言語を調べ、隊または班集会で話す。			
	(3) 日本の国旗と外国旗を併用して掲揚および設置する時の注意事項を知る。			
	(4) 半旗の意味と正しい掲揚の方法を知る。			
2.健康と発達	(1) 50m泳ぐか1,000mを走り、自己記録を更新できるように努力する。			
	(2) 水分や食物の補給が体調に与える影響を知り、体調を管理するための準備ができる。			
	(3) 救急法 ①班員1人と協力して急造担架を作り、実際に人を運ぶ。 ②直接圧迫止血法と間接圧迫止血法の違いを知り、直接圧迫止血法による応急処置ができる。			
3.スカウト技能	(1) キャンピング			

①班の炊事係として、2泊3日以上 キャンプの調理を担当する。			
②自然物（石、木、竹等）を用いた、 キャンプに役立つ工作を1つ以上作成す る。			
③マッパに防水加工を施し、携帯用の 防水容器に入れて提出する。			
④連続5泊以上の、隊キャンプか自団の 隊または班で参加できる地区、県連 盟、日本連盟のキャンプ大会に参加す る。			
⑤キャンプにおける用便、ゴミ処理な らびに食料保管について、衛生上注意 する点を知り、実践できる。			
⑥1級旅行（1泊24時間以上のハイキン グ）の計画書を作成し、必要な個人装 備を携行して隊長の指名するベン チャースカウト（但し適任者がいない 場合は1級以上のスカウト）とともに、 隊長より与えられた課題と方法により キャンプを行い、報告する。このキャ ンプは、1.基本(1)および6.班長会議(1) 以外の課目を終了した後に、仕上げの 課目として行う。○			
(2) ハイキング・読図			
①日中、夜間においてコンパスを用い ずに2種類の方法で方位を発見する。			
②300m以上の距離に追跡記号を設置し 班員を誘導する。			
③クロスベアリングの手法を用い、地 形図上で現在地を発見する。			
(3) ロープ結び			
①次のロープ結びの使いみちを理解 し、実際に使う。 ア) 垣根結び イ) よろい結び ウ) バタフライノット エ) 馬つなぎ オ) からみ止め カ) バックスブライス キ) 角しばり ク) はさみしばり ケ) 筋かいしばり			
(4) 観察			
①樹木5種類以上をスケッチまたは写真 で記録し、特徴を述べる。			
②北極星の発見方法を知り、北極星を 発見できる。また、5つの星座を発見で きる。			
③身近にいる動物（ほ乳類・鳥類・魚 類など）について観察し、報告する。			
(5) 計測			
①自作の簡易測量器具を用いて、樹木 などの高さを誤差10%以内で測る。			

	②簡易測量法を用い、到達できない2点間の距離（長さ、高さ）を誤差10%以内で測る。			
	③ハイキングで野帳をつけ、その野帳によって略地図を作る。			
	(6) 通信			
	①片かな手旗信号で20文字以上の文章を発信、受信できる。			
	②号笛を使って野外でできる簡単な通信ゲームを考え実施するか、号笛を使用した救難信号を覚える。			
	(7) 技能章から、「ハイキング章」「スカウトソング章」を取得する。			
	「ハイキング章」	00/01/00	0	
	「スカウトソング章」	00/01/00	0	
4.善行	(1) 班での奉仕活動を計画し、隊長の承認を得て実施、報告する。○			
	(2) 自分の住んでいる地域にある3つ以上の施設へ案内ができる。			
5.信仰奨励	(1) 隊集会やキャンプ、ハイキングで行うスカウトタウン・サービスで、主要な役割を果たす。			
6.班長会議	(1) 2級スカウトとして3か月以上、隊および班活動に進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。			
1級スカウト章課題 修了				

菊	：模範	日付	サイン	備考
1.基本	(1) 「ちかい」と「おきて」の実践に努力して、他のスカウトの模範となる。○			
	(2) 班長や次長（グリーンバー）、またはジュニアリーダーとして隊運営に6か月以上携わる。			
	(3) B-Pのラストメッセージを読み、隊長とその内容について話しをする。○			
	(4) 外国のスカウトの「おきて」を調べる。できれば外国スカウトや指導者に直接教えてもらう。			
2.健康と発達	(1) 5分間泳ぐか1,500mを走り、自己記録を更新できるように努力する。			
	(2) 救急法 ①AED（自動体外式除細動器）について以下のことが説明できる。 ア) AEDとは何か イ) どのような時に使用するか ウ) 使用の手順 ②たばこ、アルコール、薬物が人体へ及ぼす害について知る。			
3.スカウト技能	(1) 技能章から「野営章」「野外炊事章」「リーダーシップ章」を取得する。			
	「野営章」	00/01/00	0	
	「野外炊事章」	00/01/00	0	
	「リーダーシップ章」	00/01/00	0	

	(2) 班長や次長（グリーンバー）として班キャンプ、またはジュニアリーダーとして隊キャンプの計画を行い1泊以上の固定キャンプを実施し隊長に報告書を提出する。○		
4.奉仕	(1) 団や地域で取り組んでいる奉仕活動に、4日以上（1日1時間以上）参加する。		
5.信仰奨励	(1) 信仰奨励章を取得する。○		
6.班長会議	(1) 1級スカウトとして4か月以上、隊および班活動に進んで参加したことを班長会議で認めてもらう。		
菊スカウト章課目	修了		

技能章課目

01.野営章(菊章必修)	考查方法	日付	サイン	備考
1. 入団以来通算10泊以上のキャンプ(3泊以上のキャンプに2回参加したことを含むこと、また自分が計画した班キャンプを含むことができる)に参加していること。	報告書			実績記入
2. キャンプ地を選ぶときの基本的な条件と自然環境を保護するための注意点を説明し(A)、班キャンプにおけるサイト設計図を作成し(B)、そのキャンプ地に合った班サイトを構築する(C)。	A:口述/レポート B:レポート C:実演			
3. 家型テントとドーム型テントを含む、代表的なテントを3種以上張り(A)、特徴、用途を説明(B)できること。	A:実演 B:口述/レポート			
4. フライ付き家型テントを正しく張り、昼と夜、晴天と雨天、強風時に応じた綱の張り方ならびに支柱、ソドクロス、換気窓、扉の扱い、乾燥作業ができること。また、ドーム型テントの強風時および雨天時の対策、乾燥作業ができる。	実演			
5. 木、竹などの材料を用い、正しいロープ結びを用いてキャンプ生活に必要な用具や設備、立ちかまどを含む3種以上を製作すること。	実演			
6. キャンプの衛生について、次の各項にわけて説明ができること。 ア 湿気の防止と乾燥作業の必要性とその方法 イ 寝るテント内に食品を貯えることの有害な理由 ウ キャンプサイトにハエを発生させないための対策	口述/レポート			
7. 夜のキャンプサイトにおける正しい明かりの取り方を理解していること(A)。また、ホワイトガソリン、灯油、ガス、乾電池を使用するキャンピング灯火を3種類以上使用した経験があり、取り扱い上の注意事項・特徴・手入れの方法が説明できること。炊事用コンロの正しい取扱いが説明できること(B)。	A:実演 B:口述/レポート			
8. 2泊以上のキャンプに必要な個人携行品(A)を身につけて点検を受けること。(B)	A:レポート B:実演			
修了				

02.野営管理章	考查方法	日付	サイン	備考
1. 野営計画時において次の項目について点検し、点検報告書を作成する。 ア キャンプ地の選定(水質検査を含む) イ 食料および燃料の手配 ウ 便所とごみ捨ての衛生処理 エ 班サイトの立地条件(炊事場・かまど配置条件を含む) オ 現地における緊急対策	報告書			
2. 朝と夜の点検の重要性和心構えについて説明し(A)、朝と夜の点検の各点検項目表を作成し、それを用いて実際のキャンプにおいて点検を行い、報告する(B)。	A:口述/レポート B:レポート			

3. キャンプ中に起きるかもしれぬ突発事故（例えば急病、火災、盗難、虫害、風水害など）がおきた場合の処置について説明できること。	口述/レポート			
4. 次のキャンプ用具の格納、保管に当たり、行うべき処置を知ること。 ア：テント・フライシート イ：グランドシート ウ：ペグ エ：工具 オ：炊具 カ：ロープ類	実演			
5. 水辺または水泳プログラムを有するキャンプの安全管理につき、特に注意する点を説明できること。	口述/レポート			
6. キャンプにおいて朝礼、スカウトOWN・サービス、キャンプファイアを計画(A)、実施し(B)、それぞれの意義について説明する(C)。	A:計画書 B:実施 C:口述/レポート			
7. 隊、地区または県連盟など1個隊以上の規模で行われるキャンプ、または常設キャンプ場の管理に通算3昼夜以上奉仕した経験があり、その奉仕記録または報告書を提出する。	報告書			
修了				

03.救急章	考查方法	日付	サイン	備考
1. ボーイスカウト救急法講習会もしくはそれに準ずる救急法講習会を修了する。ただし、次の講習会の場合では、ボーイスカウト救急法講習会の一部細目を履修することができる。これらの講習会で履修できなかった細目については、別途考查を受け、合格すること。 ア 日本赤十字社（救急法講習、救急員養成講習） イ 消防署（普通救命講習、上級救命講習）	証明書の提示			
2. 隊の救急箱を整備し（未整備品、充足、不足物品のリストアップ含む）(A)、そのチェックリストを提出する(B)。	A:実施 B:レポート			
3. 県連盟、地区単位で設置される救護所の奉仕や隊活動、キャンプでの救護係を通算5日以上担当し(A)、その報告書を提出する(B)。	A:実施 B:報告書			
修了				

04.野外炊事章（菊章必修）	考查方法	日付	サイン	備考
1. 戸外で、あり合わせの材料を用いて、地面を掘らない方法で、3種以上のかまどを作ること(A)。また、常設かまどの正しい利用方法と注意点を説明できること(B)。	A:実演 B:口述/レポート			
2. ホワイトガソリン、灯油、ガスを使用するキャンピングストーブ(コンロ)と自然保護の関係について理解していること(A)。また、1機種以上のキャンピングストーブを使用して炊事をした経験があり(B)、取扱上の注意事項・特徴・手入れの方法が説明できること(C)。	A:口述/レポート B:実施 C:口述/レポート			
3. マッチに防水加工を施し、携帯用の防水容器に入れて提出すること。	実演			
4. 班の炊事係として、次の野外料理を作ること。 ア 食用野草を含む野菜料理 2種以上 イ 牛、豚、鶏などの肉料理 2種以上 ウ 塩干魚および生魚の料理 2種以上 エ 小麦粉を用いたダンパー、またはツイスト	実演			

5. 川などの自然水を使用するときの簡易ろ過装置を 図解(A)し作成する(B)。また、ろ過後の水および 生水の滅菌ができること(C)。	A:計画書 B:実施 C:実演			
6. 非常食（簡易食品を含む）5種をあげ、その扱いを 知ること。	口述/レポート			
7. 炊事用具の正しい使用と管理ができ、次の項目が 実演できること。 ア 包丁を用いて、料理に応じた野菜の切り方、魚 の3枚おろし。 イ 使用した炊事用具で食中毒を引き起こさないた めの衛生管理方法。	実演			
修了				

05.公民章	考査方法	日付	サイン	備考
1. 次のうち、1つを選んで説明する。 ア 国民の権利、義務、責任 イ 民主主義と基本的人権 ウ 日本国憲法の三大原則	口述/レポート			
2. 地球環境問題について1つ取り上げ、自分には何が できるか説明する。	口述/レポート			
3. 日本がどのような国際貢献をしてきたか、また今 後求められる国際貢献について説明する。	口述/レポート			
4. ボイスカウト以外で地域に貢献する団体を調べ る。	レポート			
5. 国において市民権とはどういう意味か調べ、どう すればこの国において良き国民となれるか隊長と 話し合う。	話し合い			
6. 新聞等の報道の中から「平和」・「人権」に関す る記事を1つ選び、概略をまとめる。	レポート			
7. 郷土の歴史、伝統行事、文化遺産について調べ、 報告書を提出する。	レポート			
8. 隊長の助言を得て、地域社会での指導的立場にあ る人を訪問し、仕事や任務について学び、 集会で話す。	発表			
修了				

06.パイオニアリング章	考査方法	日付	サイン	備考
1. 8の字しぼり（または三脚しぼり）を用いて、丸太 等で三脚を組み立てる。	実演			
2. 角しぼりと筋かいしぼりを用いて、丸太材で台形 橋脚（斜め材2本入り）を組み立てる。	実演			
3. ロープを強く張るための結びを知り、2種以上の方 法を実演する。できれば、滑車を使った場合の方 法を知り実演する。	実演			
4. 次のいずれか1種を選び、これを構築する。 ア 100kg以上の荷や人を積めるいかだ イ 幅30cm以上、長さ3m以上でリュックを背にし たスカウト1人ずつが安全に通れる軽架橋 ウ 頂上でスカウト1人が安全に作業できる高さ 4.5m以上の信号やぐら	実演			
5. 4で選んだ工作物の設計図を作成し、使うロープ の種類、使用するロープ結び等を説明し、資材リ ストを作成する。	計画書			
6. 4で選んだ工作物の模型を作成し(A)、作業計画書 を作成し、作業手順が説明できる(B)。	A:実演 B:口述/レポート			

7. 4で選んだ工作物を構築する場合の作業安全計画書を作成し、作業にあたっての安全対策が説明できる。	計画書			
修了				

07.リーダーシップ章（菊章必修）	考查方法	日付	サイン	備考
1. 班長または次長（ベンチャースカウトの場合は議長またはチーフ）として、6か月以上、隊運営に携わる。	実施			
2. 班の係（ベンチャースカウトの場合は隊または活動グループ）において、それぞれの役割について説明できる。	口述/レポート			
3. 他のスカウトの進級に向けて、スカウト技能を指導する。	実施			
5. 傾聴について知り、仲間の意見を理解する。	口述/レポート			
7. コミュニケーションに関する書籍を読み、自分の意見を隊長と話し合う	話し合い			
修了				

08.ハイキング章（1級章必修）	考查方法	日付	サイン	備考
1. バトローリングの正しい方法と、その意味を説明する。	口述/レポート			
2. ハイキングの装備携行品一覧表を作成する。	計画書			
3. ハイキングで観察物を3種類以上スケッチする。	実施+報告書			
4. 地球にやさしい野外活動をするために、ハイキングで何ができるかを説明できる（アウトドアコード）。	口述/レポート			
5. 道に迷ったときの対処の方法を説明できる。	口述/レポート			
6. ハイキングで野帳をつけ、またその野帳によって略地図を作る。	実施			
7. ハイキングに適切な服装、雨具、靴について説明できる。	口述/レポート			
8. 自然環境を利用した天気の前測ができる。	実演			
修了				

09.スカウトソング章（1級章必修）	考查方法	日付	サイン	備考
1. 「君が代」と「連盟歌」を正しく歌える。	実演			
2. スカウト歌集から10曲以上、スカウトソングを歌える。	実演			
3. セレモニーで連盟歌の指揮を正しく行う。	実演			
4. 5曲以上のスカウトソングを歌唱指導することができる。	実演			
修了				

10.通信章	考查方法	日付	サイン	備考
1. 100m以上離れた2点で手旗の送受信ができる。	実演			
2. 号笛または旗を用いたモルス信号で10文字程度の文章の送受信ができる。	実演			
3. 追跡記号を10種以上覚える。	実演/レポート			
4. 300m以上の距離に追跡記号を設置し班員を誘導する。	実演			
5. 救難信号の種類と使い方を説明する。	口述/レポート			
修了				

11.計測章	考查方法	日付	サイン	備考
--------	------	----	-----	----

1. 自分の身体や身近にあるものを用いて簡単な計測を行う。	実演			
2. ロープに1m刻みの目盛りを施し、計測に使える。	実演			
3. 100mの距離を誤差5%以内で歩測する。	実演			
4. スカウトペースで2kmを15分で移動する。	実演			
5. はかりや計量器を使わずに、1合の米、1ℓの水を15%以内の誤差で測る。	実演			
6. 自作の簡易測量器具を使い、樹木などの高さを誤差10%以内で測る。	実演			
7. 簡易測量法を用い、到達できない2点間の距離（長さ、高さ）を誤差10%以内で測る。	実演			
8. 計測を取り入れた集会を計画、実施を行う。	計画書+実演+報告書			
修了				

12. 観察章	考查方法	日付	サイン	備考
1. 食用植物、有害植物をそれぞれ2種以上見分ける。	実演			
2. 24個の小さなものを1分間観察し、そのうちの16個以上を記憶によって覚える。	実演			
3. ハイキングで観察物を3種以上の方法（写真、スケッチ、拓本、採取など）で記録する。	報告書			
4. 樹木5種類以上をスケッチまたは写真で記録し、特徴を述べる。	報告書			
5. 北極星の発見方法を知り、北極星を発見できる。また、5つの星座を発見できる。	実演			
6. 身近にいる動物（ほ乳類・鳥類・魚類など）について観察し、報告する。	実演			
修了				